

防災行政無線を設置します。

工事請負金額は

2億6,144万1,187円

設置目的

現在、嘉麻市の防災情報は、合併前の機器を活用し運用しています。

しかし、大規模災害を想定した時に、現状

では市民への情報伝達に時間を要し、手段も異なっていることから、同時に通信システムの導入が必要とされていました。

また、現在の機器は老朽化し、交換部品の製造もなされていないことから、国、県、市からの緊急通報や平常時には行政情報を瞬時に全市民へ伝達するため、市内全域にデジタル方式による防災行政無線を設置します。

各地区の状況

無線の種類

議会の審議

基地局	1台
中継局設備	1局
遠隔制御機器	4台
携帯型無線機	1台

設置目的

山田地区
ケーブルテレビ事業を活用し、テレビ画面にテロップで防災情報を流しています。

碓井地区

により、緊急事態の発生を伝え、音声告知については職員等が広報車で呼びかけています。

同報系防災行政無線
屋外拡声器や戸別受信機を介して市等から市民に対して防災情報や行政情報を伝えるシステムです。

稻築地区
稻築庁舎から有線放送により音声による情報伝達を行っています。

移動系防災行政無線
車載型や携帯型の移動局と市役所との間で通信を行うシステムです。

難聴地域の対策はどうするのかとの質問に対し、戸別受信機を設置することで対応したいとの回答がありました。

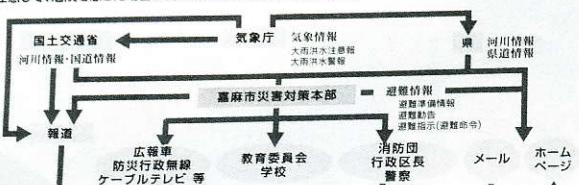
基礎工事などは、地元業者に下請けされるようにでき、どの質問に対し、下請けできるように指導していました。

元業者に下請けさせることの質問に、下請けできるよう指示していきたいとの回答がありました。

7億余りの予算に対し、2億6千万円の契約となっているが、積算はどうなっているのかとの質問に対し、請負業者が機器を製造しており、安価で機器を納品できることが要因の一つと考えているとの回答がありました。

情報の伝達経路

大雨や洪水に関する注意報や警報、避難の勧告や指示(命令)は、以下のような経路で皆さんに伝達します。市や消防団より避難の呼びかけがあった場合は内容をしっかりと確認して下さい。雨の降り方や浸水の状況に注意して、危険を感じた場合は自主的に避難することも大切です。



嘉麻市防災マップ



防災行政無線(嘉穂地区)